

2. 火山の概況

(平成15年11月13日 ~ 平成15年11月19日)

期間中、5火山の火山活動度レベルに変化はなかった。浅間山では地震がやや多い状態が続いた。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発であった。桜島では噴煙活動が継続した。(週間火山概況の中では、期間中のレベルの状態を記述している。最新のレベル及び各々の火山のレベル区分については、気象庁ホームページに掲載しているのを利用されたい。)

その他の火山については、三宅島では噴煙活動が継続した。霧島山では微動が発生した。桜島、諏訪之瀬島では噴火があった。薩摩硫黄島では微動が発生した。

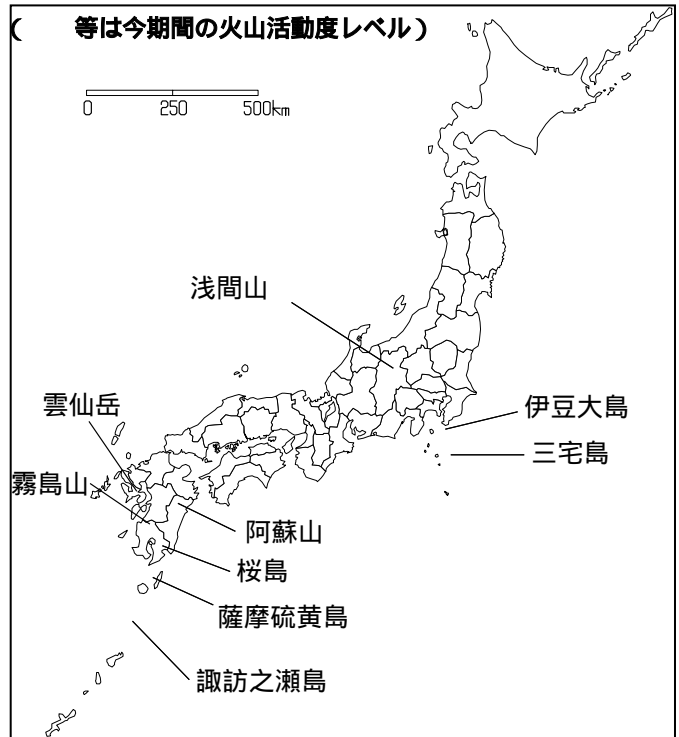


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山	伊豆大島	阿蘇山	雲仙岳	桜島	樽前山	富士山	三宅島	伊豆鳥島	噴火浅根	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
		レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号	レベル 記号
47	11/13-11/19	2	1	2	1	2									
46	11/ 6-11/12	2	1	2	1	2									
45	10/30-11/ 5	2	1	2	1	2									
44	10/23-10/29	-	-	-	-	-									
43	10/16-10/22	-	-	-	-	-									

注1 記号の意味

- : 噴火した火山
- △ : 観測データ等に変化があった火山
- ◇ : 前期間まで や で掲載した火山の、その後の状況等
- : その他記事を掲載した火山
- : 等の丸付き数字 : 火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

浅間山 [地震・微動・熱] レベル：2 (やや活発な火山活動)

6月末頃からやや多く観測されるようになった振幅の小さい地震は、今期間もやや多い状態が継続しており、1日あたり27~57回観測された。また、振幅の小さい微動は18日に2回、19日に1回の計3回観測された(前期間は2回)。

山麓の監視カメラによると噴煙活動は、白色の噴煙が最高で火口縁上300mまで上がっているのが観測された。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラでは、火口底で引き続き高温部が観測された。

伊豆大島 レベル：1 (静穏な火山活動)

地震活動は静穏で、噴煙は確認されなかった。また、地殻変動等のその他の観測データにも異常な変化はなかった。

三宅島 [噴煙・地震]

監視カメラによる噴煙の観測では、白色の噴煙が連続的に噴出しており、噴煙高度の最高は火口縁上1,000mであった。

振幅の小さいやや低周波の地震は、13日13時台に10回、同日17時台に15回とまとまって観測され、1日あたり51回とやや多かったが、これに伴ってその他の観測データに特に変化はみられなかった。それ以外の日の日回数は、1日あたり22~41回と落ち着いた状態で推移した。

GPSによる地殻変動観測では、今年6月頃から再び島の収縮傾向を示している。

阿蘇山 [熱・地震・微動] レベル：2（やや活発な火山活動）

中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発で、孤立型微動が多い状態で推移した。

中岳第一火口内の状況は、14日に実施した現地観測によると、見かけ上の湯だまりの面積は約5割となっており、減少傾向が続いている。湯だまりの色は乳緑色で、湯だまりの中央部付近で噴湯現象が確認された。湯だまり表面の温度の最高は79と依然高い状態が続いている（前回の観測時（4日）は73）。また、南側火口壁の温度の最高も302と依然高い状態であった（前回の観測時は334）。

噴煙の状況は、少量の白色噴煙が連続的に噴出しており、噴煙高度の最高は火口縁上500mであった（前期間は少量・白色で最高高度は400m）。

孤立型微動は、今期間の発生回数が1,750回（前期間は1,713回）と多い状態が続いている。

火山性地震は、A型地震の回数が5回（前期間は阿蘇山の火山活動に直接関係しないと考えられる構造的な地震等により24回）、B型地震の回数が12回（前期間は14回）で、特に異常はみられなかった。

地殻変動等、その他の観測データには特に異常な変化はなかった。

雲仙岳 レベル：1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも異常な変化はなかった。

霧島山 [微動]

13日12時35分に御鉢付近が震源とみられる微動が発生した（今年7月12日以来）。東京大学地震研究所の高千穂西観測点における継続時間は2分、最大振幅は3.6 μ m/sで、規模は小さかった。監視カメラによる観測では、この微動に関係して御鉢の噴煙活動等に特段の異常はなかった。

桜島 [噴煙・降灰・地震] レベル：2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、1回の噴火があった。爆発はなかった（前期間は噴火・爆発なし）。南岳山頂火口の噴煙の状況は、中量・灰白色の噴煙が、最高で火口縁上900mまで上がるのが観測された。

鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）における降灰日数は計3日、降灰量は計1g/m²であった（前期間は降灰なし）。

16~17日に桜島島内の南西、深さ7km付近を震源とする身体に感じないA型地震が増加した。この地震活動の後、18日に噴火が発生した。A型地震はその後減少しているが散発的に発生している。

薩摩硫黄島 [微動]

前期間に引き続き、噴火はなかったが、連続微動がしばしば発生した。

噴煙活動は、山麓の監視カメラの観測によると、白色・中量の噴煙が最高で火口縁上600mまで上がった。

諏訪之瀬島 [噴煙・微動]

期間中、爆発はなかった（前期間は爆発1回）。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、13~16日及び18日に火山灰を含んだ噴煙が上がった。但し、島内の集落（御岳の南南西約4km）への降灰はなかった。

連続微動がほぼ全期間にわたり発生した。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第 631 号 (1日2回発表) 火山観測情報第 644 号	13日 09:30 19日 16:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
阿蘇山	火山観測情報第 27 号	14日 11:50	火山活動がやや活発(孤立型微動が引き続き多い、中岳第一火口の熱的な状態が高い)。火山活動度レベルは2。
桜島	火山観測情報第 3 号	17日 14:30	A型地震がやや多い。今後噴火活動が活発化する可能性あり。火山活動度レベルは2。